



# 曾於市議会だより

第43号

平成28年2月発行

## 12月定例会

平成26年度 決算を認定	2
市政を問う	5
委員会報告	17

ナイスブロック！（財部中 バレーボール部）

発行：鹿児島県曾於市議会 編集：議会広報等調査特別委員会

〒899-8692 鹿児島県曾於市末吉町二之方1980 TEL 0986-76-8816 FAX 0986-76-8901

# 今後に生かせ!

## あたりの 借金

290,000円

790,000円

111 億 7,242 万円

304 億 3,939 万円

平成 27 年 3 月末現在  
除した額  
を含む)

決算審査特別委員会に付託された認定案 8 件及び議案 1 件を、9 月 30 日から 10 月 16 日に委員会を開き慎重に審査を行いました。

審査の結果、10 月 30 日本会議において報告され、それぞれ認定しました。

また、12 月定例会は、12 月 4 日から開会し、12 月 22 日までの 19 日間の日程で開かれ、平成 27 年度予算の補正に関するものの他、議案 17 件、報告 5 件、陳情 1 件を審議・議決しました。

## 平成26年度 決算を認定

### 決算委員会での意見を集約

#### ● 一般会計

- ・平成 28 年度からは段階的に普通交付税が減額になっていくため、将来の財政負担の軽減を図るためにも、交付税算入の高い起債を活用し、緊急度、優先度を勘案しながら、健全な財政運営に努められたい。
- ・各施設の修繕について、市は老朽化した施設が多く財政運営に支障が出ないよう、修繕計画に基づき取り組まれたい。
- ・市民サービスについて、大隅、財部の支所では市民の窓口業務などに支障をきたさないよう努められたい。
- ・税金や使用料の収納率引き上げについては、滞納が多くみられるが、収納率の引き上げに、創意工夫をこらして一層取り組まれたい。
- ・人口増対策について、宅地分譲をはじめ、人口増、地域活性化対策には特段の力を入れられたい。
- ・財部温泉健康センターの第 2 泉源の故障が続き、市民サービスに影響が出ている。早期に原因究明し、利用ができるよう取り組まれたい。
- ・営農対策について、東部畑かん、北部畑かん、大隅南畑かん事業は市の大きな財政負担を伴っている。今後畑かんの水利用が効果的に活用できるよう、特に営農指導には力を入れて取り組まれたい。
- ・橋梁の修繕については、財政負担とにならないよう計画的に対応されたい。
- ・児童、生徒の学力向上は喫緊の課題である。創意工夫をこらして全力で取り組まれたい。

# 決算をチェック!!

## 平成26年度 歳出総額342億円

## 市民一人 貯金と

平成 26 年度 会計別決算状況

(万円以下四捨五入)

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計		224 億 1,689 万円	215 億 7,881 万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	62 億 5,822 万円	59 億 8,082 万円
	後 期 高 齢 者 医 療	5 億 3,594 万円	5 億 3,364 万円
	介 護 保 険	51 億 8,637 万円	50 億 813 万円
	公 共 下 水 道 事 業	2 億 766 万円	1 億 9,910 万円
	生 活 排 水 処 理 事 業	1 億 683 万円	1 億 519 万円
	笠 木 簡 易 水 道 事 業	2 億 2,773 万円	2 億 1,723 万円
水 道 事 業 会 計	収 益 的	5 億 5,532 万円	4 億 7,262 万円
	資 本 的	10 万円	1 億 7,831 万円
総 計		354 億 9,506 万円	342 億 7,385 万円

貯 金  
借 金

基金（貯金）総額  
市債（借金）総額

※一人あたりの金額は、  
の人口 38,507 人で  
（一般会計と特別会計

### ● 国民健康保険特別会計

- ・平成 26 年度の医療費の減少を深く検証して、今後の予防医療をはじめとした諸施策に生かされたい。

### ● 後期高齢者医療特別会計

- ・委員から県後期高齢者医療広域連合で運営する予算執行や、保険料の値上げ等について制度上の問題点を問う意見があった。

### ● 介護保険特別会計

- ・介護サービス事業は、高齢者にとって大変大事な事業であり、安定的な財政運営のもとで、各事業の検証を進めながら、この事業の取り組みの強化に努められたい。

### ● 水道事業会計

- ・平成 26 年度の決算について、地方公営基準に基づく見直しが十分にされていない点については、今後しっかりと見直しをして、平成 27 年度決算認定に付記注記されたい。
- ・水道事業の内部留保資金については、今後しっかりした計画と方針を立てて活用すべきである。

予 算

☆平成27年度曾於市  
一般会計補正予算

(全会一致 可決)

補正の歳入については、国庫負担金の子ども・子育て支援給付費負担金を4461万円、県負担金の子ども・子育て支援給付費負担金を2230万円、県補助金の機構集積協力金交付事業補助金を2459万円、繰入金は、基金繰入金の財政調整基金繰入金を1億5519万円それぞれ追加するものです。

歳出については、認定こども園及び保育園の入所者増に対する施設型給付費を1億528万円、大隅中央幼稚園認定こども園増改築に対する保育所等整備補助事業を2835万円、生活保護費の平成26年度国還付金に対する生活保護総務費を4075万円、農地中間管理機構の推

進に対する農地中間管理事業を2459万円それぞれ追加するものが主なものです。

☆平成27年度曾於市  
後期高齢者医療特別

会計補正予算

(全会一致 可決)

今回の補正は、後期高齢者医療保険料の還付によるもので、歳入・歳出については、諸支出金の償還金及び還付加算金を4万円追加したものです。

☆平成27年度曾於市  
介護保険特別会計

補正予算

(全会一致 可決)

今回の補正は、保険給付費や地域支援事業費に伴う追加が主なもので、歳入については、国庫支出金の国庫負担金を154万円、支払基金交付金を84万円、繰入金の一般会計繰入金を195万円追加するものが主なものです。歳出については、保険

総合振興計画

☆第2次曾於市総合振  
興計画基本構想の策

定

(全会一致 可決)

第1次総合振興計画では、3町の均衡ある発展を目指しました。

第2次総合振興計画は、市民が住んでよかつたと思えるようなまちづくりを進めるための目標と方向を示し、必要な施策の大綱などを明らかにするものです。

条 例

☆曾於市債権管理条例  
の制定

(全会一致 可決)

金銭に係わる市の債権の管理に関し、督促手数料、延滞金及び遅延損害金の徴収と減免、債権の放棄や債権ごとの滞納処分や強制執行

の手続きを定めることによつて、事務の適正化と効率化を図り、公正かつ円滑な行財政運営をするために制定するものです。

☆曾於市行政組織条例  
の一部改正

の一部改正

(全会一致 可決)

現在ある保健課を保健課と介護福祉課に、経済課を農林振興課と商工観光課に分離するものであり、市民の皆さんの要望にこたえる組織再編するための条例の改正です。

☆曾於市税条例等の一  
部改正

一部改正

(全会一致 可決)

市民税等を納める市民の皆さんが何らかの理由により、税の免除を受けようとする場合、納付期限7日前までに手続きする必要があるりましたが、納期限までに手続きできるように条例を改正するものです。

☆曾於市国民健康保険  
税条例の一部改正及  
び曾於市介護保険条  
例の一部改正

(全会一致 可決)

保険税の減免を受けようとする場合、納期限7日前までに手続きする必要があるが、納期限までに手続きできるように条例を改正するものです。



☆曾於市道路占用料徴  
収条例の制定

(全会一致 可決)

道路法の規定により道路の占用料の額及び徴収方法を定めるものです。

陳 情

☆大規模鶏舎の建設計  
画反対についての陳  
情

(賛成多数 採択)

提出者  
財部町南保 3654  
番地ろの1  
堀野 義文氏  
財部町南保 3603  
番地5  
川路 高明氏

飯野・西飯野自治会周辺には、豚舎や鶏舎が散在し、風向きによつては悪臭や鳴き声等の騒音があり、新たに10万羽飼養する大規模な鶏舎が建設されれば、今まで以上に悪臭や騒音に加えて、粉塵被害を被るので、住民一同強く建設を反対する。

※条例の一部改正等は、いずれも平成28年4月1日から施行するものです。

一般質問  
12 議員登壇

# 市政を問う



改築予定の岩川小学校

**問** 水道料金の剰余金である内部留保資金が毎年増えている。現在では水道事業の年間予算の2倍にあたる9億2千万円と大きい。一方、曾於市の水道料



徳峰 一成 議員

市長／引き下げは必ずかしい

## 水道料金の引き下げを

金は都城市や志布志市にくらべて高い。このため内部留保資金の一部、約3千万円程度を水道料金の引き下げにまわすべきではないか。

**市長** 今後人口減少にともない収益の減少が予想される中、引き下げを行うことは必ずかしい。

## 宅配サービス改善と 取り組みの強化を

**問** 今年8月に事業が始まった宅配サービスの取り組みを聞きたい。

**市長** 登録者が現在、未吉10名、大隅11名、財部1名である。

**問** この事業は最初から準備が弱く、軌道に乗っていない。市長の公約でもあり、平成28年4月からは本格的な軌道に乗せるべきではないか。

**市長** 利用者増をはかるため各団体をお願いしながら、商品の充実を図り進めていきたい。

## 岩川小の全面改築など 今後の財源確保は

**問** 以下の15の事業は必要でありながら、多くが具体的計画がみられない。市の考え方と事業に必要な財源確保

について聞きたい。

**市長** 以下のような計画をもっている。

事業名	事業年度	事業費
岩川小全面改築	岩川高校跡地へ検討31~32年度	17億5千万円
末吉小全面改築	検討していない	—
畑かん負担金(北部畑かん・大隅南畑かん)	28~33年度	26億5千万円
宅地分譲	28年度	2500万円
有線放送電柱撤去	28~30年度	1億500万円
橋梁改修	28~32年度	3億3千万円
市民プール改修	検討していない	—
桜ヶ丘住宅	検討	—
末吉地区住宅建設	今後検討	—
地域振興住宅	29年度までに	3億1千万円
大隅文化会館改修	今後検討	—
大隅中央公民館改修	今後検討	—
大隅・財部支所改修	検討していない	—
八合原道路等整備	29~33年度	3億3500万円
メセナ温泉宿泊改修	検討していない	—
医師会病院建設負担金	検討していない	—

**問** 財政健全化を維持するなかで、これらの事業をおこなうことは大変困難。このため今の段階から事業に必要な財源確保については、深い議論と検討を重ねていただきたい。

**市長** 今後対応していきたい。

内部留保資金の一部を使って、水道料金の引き下げを

ちょっとひとりごと

# 曾於市農業の後継者対策は

市長／定年後の就農や兼業農家育成に努める



泊ヶ山正文 議員

かでどのような具体的対策が講じられるかによって、本市農業への影響が明らかになる。

**問** TPP大筋合意を受け、本市農業にどのような影響が考えられるか。

**問** 肉用牛部門の今後5年後、10年後の自然離農をどれほど試算しているか。

**市長** 平成27年1月現在1109戸であり、5年後の平成32年の離農戸数は380戸、10年後の平成37年の離農戸数は590戸と試算している。



高値相場のセリ市

**市長** 農業従事者数は6847人で、平成32

**問** 耕種部門の今後5年後、10年後の自然離農をどれほど試算しているか。

年で約490人、平成37年で約600人が離農すると推測される。

**問** 70歳以上の中規模肉用牛農家の割合は。

**市長** 70歳以上で10頭以上50頭未満の中規模肉用牛農家数は、103戸で農家数1109戸の9.3%になる。

**問** 70歳以上の中規模肉用牛農家の後継者状況は。

**市長** 70歳以上の中規模肉用牛農家数は、103戸で、うち後継者がいる農家数は48戸、後継者がいない農家数は55戸である。

## 自然災害対策は

**問** 市内の県河川、市河川の割合は。

**市長** 県が管理する1級河川と2級河川は15河川・延長134km、



除去の急がれる寄州

市が管理する準用河川と普通河川は64河川・延長133kmである。

**問** 寄州の除去を早急に進めべきと思うが市長の考えは。

**市長** 寄州については、河川断面が小さくなり、川の流れを阻害し氾濫の原因となるので、危険な所については、早急な対応が必要と考えている。

## 曾於市育英奨学金制度は

**問** 育英奨学金制度を利用している人数は。

**市長** 一般育英奨学金が69名、愛甲育英奨学金が4名の合計73名である。

**問** 3町ごとの割合は。

**市長** 末吉町が36名、大隅町が24名、財部町が13名である。

**問** 奨学金の返済免除の市町村はないか。

**市長** 現時点で返済免除を行っている自治体は県内ではないが、県外では大学等卒業後、当該自治体に一定期間定住する等により返済を免除している自治体や、今後免除を予定している自治体がある。

**問** 市内に就職、就農した時に、返済免除はできないか。

**市長** 市内に就職、就農した時の返済免除については、定住促進対策のひとつとして有効な手段である。今後様々な状況を調査・研究しながら検討していく。

TPPに負けてたまるか！

ちょっとひとりごと

# 自治会未加入対策は 喫緊の課題

市長／自治会に関するアンケート  
調査をおこなっている



迫 杉雄 議員

**問** 自治会未加入戸数が今後、市政発展にどのようなながれ状況をもたらすか、弊害的展望について市長の見解を伺う。

**市長** 自治会は、地域住民と行政とのパイプ役をはじめとして教育、福祉、防犯など、様々な分野で地域コミュニティの中心組織として地道な地域活動を展開し、住みよい地域づくりを支えている。



自治会による美化活動

**問** 全国的、各自治体を取り組んでいる「自治会未加入対策促進条例」(仮称)なるものを制定すべきであるが。

**市長** 現在「自治会に関するアンケート調査」をおこなっている。結果を待って、議会をはじめ、自治会や市民の意見を伺い、先進地の事例を参考にしながら対応する。

## まち・ひと・しごと 創生総合戦略は

**問** 曾於市創生総合戦略により人口増ビジョン五カ年計画と第二次曾於市総合振興計画により、人口ダム機能の研究をして人口流出を食い止める取り組みが手薄いが議論はどうであるか。

**市長** 定住に向けた公営住宅の整備や宅地分譲を推進し、本市の存在と魅力を発し、定住の候補地としてもらう

ため、各種支援策の効果的な、PRをする交流体験事業等の観点から本市の魅力を実感してもらい取り組みを推進する。

**問** 曾於市独自の若者定住について、U・I・Jターン等のもとより返済免除の奨学金制度に取り組むべきであるが、創生総合戦略の中で議論はなされたのか、金融機関との対応はなかったのか。

**教育長** 返済免除の奨学金制度についての取り組みが、まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の段階では議論していない。また、市内各金融機関との打合わせもしていないが、今後、市外へ進学する若者をUターンしてもらい、市外へ進学する若者に対しての議論をして、返済免除の奨学金制度についても検討したい。

## 曾於市総合戦略重点プロジェクト

- 1 しごと「そお生」プロジェクト
- 2 にぎわい「そお生」プロジェクト
- 3 家族の笑顔「そお生」プロジェクト
- 4 生活環境「そお生」プロジェクト

自治会未加入対策こそ、  
住みよい地域になる

ちょっとひとりごと



# 「ゆずの里・曾於市」の マイクロバスによる広報を

市長／ゆずと曾於市ゆるキャラを含めて描きたい



上村 龍生 議員

**問** 6次産業化推進事業の現状と今後の見通しは。

**市長** 現在、曾於市内の8事業所が申請をされ、鹿児島6次産業化サポートセンターと事業者で商品づくり・施設整備等の協議を行いながら、有利な事業導入等を検討している。農産物に付加価値をつけて有利販売すること



九州一のゆず産地

や、市場での販売価格が安定しないことを考えると、6次産業化の取り組みは、今後も増加してくると思われる。

**問** 6次産業化の大きな成功例として「曾於市におけるゆず栽培の取り組み」がある。現状と今後の見通しは。

**市長** 作付面積93ha、会員409名、年間800トン前後の生産量となっている。合併後33ha増園しており、その園が収穫できる成園になると、生産量の大幅な増加が予想されるので、平成29年度を目途に一次加工施設の増設を検討していく。

**問** 作付面積・生産量ともに九州一でありながら、そのことが県内外にあまり知られていない。生産者から「ゆずの里・曾於市」を市のマイクロバスに大きく描き九州管内を走り

回らせて宣伝してくれとの要望があるが。  
**市長** ありがたい提案なので、ゆずとゆるキャラ「そお星人」を含めてバスに描きたい。

## 債権管理は

**問** 曾於市の現状では、債権管理が不十分なところがあり、新たな取り決めである条例制定の必要がある。しかし、市債権は財政上最も市の利益に適合するように管理されなければならぬ。特に、債権放棄については、これまで個別に議会の議決を要する重要案件であったものを条例に定めることにより議決なしに債権放棄できることになる。これまで以上に慎重な取り扱いが求められる。具体的には、より抑制的・限定的な運用が求められると思うが、市長の見解を求めらる。

**市長** 市として債権放棄については、慎重に抑制的・限定的な運用に努める必要がある。



マイクロバスを活用し曾於市のPRを!



曾於市はゆず栽培九州一!

ちょっとひとりごと



# 暮らしやすく やさしいまちづくりを

市長／公共施設には障害者用駐車スペースを設ける



伊地知厚仁 議員

設の整備、管理については、樹木の伐採など、路面の補修など予算を計上し整備していきたい。

**問** 公共施設の障害者用駐車場の実態は。

**市長** 庁舎の障害者用駐車場は、本庁・各支所それぞれ設置されているが、今後、公共施



設置された障害者用駐車場（大隅支所）

**弥五郎の里周辺整備は**

**問** 弥五郎の里周辺整備について、これまでの経過は。

**市長** 片側にしか歩道がないため、県当局に対し、曾於地区土木協会や曾於地域土木事業連絡会、県との行政懇話会など、あらゆる機会に歩道設置を要望している。

**問** 桜のライトアップ（照明）の改善は考えられないか。

**市長** 今年度、合併10周年記念事業として桜の植栽を計画している。今後の状況を見ながら検討していきたい。

**問** 多目的広場利用者へ屋根つき休憩施設はできないか。

**市長** 現在ある休憩施設の屋根に、雨よけと日よけの増設を計画していきたい。

## 水道事業の給水区域は

**問** 市の管理する配水管・各戸が管理する配水管はどのように定められているのか。

**市長** 市の管理する配水管は大字、小字で管理し、区域を定めている。配水管から分岐給水する場合は、個人負担で給水管及び給水装置を設置するが、合併後に本管からメーターボックスまでは、市で維持管理をしている。

**問** 本管配水管の延長は。

**市長** 市水道は、区域内で配水管から分岐給水が可能であれば、個人負担だが、距離は遠くても接続可能である。また、一戸当たり20mまでは、市が負担とする。

**問** 小規模水道施設事業の補助率の改正は。

**市長** 市内の小規模水道施設を利用されている自治会と十分に協議を重ねていく必要がある。今後検討していく。

**問** 地域振興住宅へ農業後継者の入居は考えられないか。

**市長** 農業後継者が安心して生活できる住環境を整えるのは重要なことである。地域振興住宅の目的とするところや平等性等について十分検討する必要がある。



歩道整備が望まれる弥五郎の里周辺

マナーを守ることが大事

ちょっとひとりごと

# 危機管理について

市長／平日にゴルフをしていたのは  
事実である



今鶴 治信 議員

**問** 市長は、10月22日（木）の平日に都城市でゴルフをしていたと聞いたが、事実か。

**市長** 休暇をとってプライベートでゴルフを



財部で行われた防災訓練

したのは事実である。

**問** 八木副市長は午前中出張、大休寺副市長と谷口教育長も休暇と聞いたが事実か。

**市長** たまたまその日は、行事等の公務もなくそれぞれ休みをとった。

**問** いつ南海トラフ地震等の大災害が発生するか予測できない。市の3役は、できるだけ同時に休むのを避けるべきである。危機管理の意識が気薄ではないか。

**市長** 緊急に備えていつでも総務課長と連絡をとる体制はとっている。

## 市長交際費は

**問** 平成26年度決算において、市長交際費の中に初七日・初盆に供花・果物等があったが、市長交際費の規則・慶弔規定は、定められているのか。

**市長** 市長交際費支出基準が、平成20年度に定められている。

**問** 心情的には、理解するが、国会で大臣が、香典や枕花のことで大きな問題になっている。初七日・初盆等は、宗



長野県須坂市の取り組み

教行事であるので政教分離の観点から市民に誤解を受ける可能性はないか。

**市長** 支出基準に「市長が特に認めたもの」とあるので問題はない。

## 在宅医療・介護は

**問** 曾於市の在宅医療・介護体制は。

**市長** 在宅医療と介護を一体的に提供するために平成25年度から曾於医師会立病院に在宅医療推進支援室を設置し「在宅医療推進地域

支援事業」を実施している。

**問** 国の方針では、平成30年度から在宅医療・介護連携事業の取り組みが必須となるが、曾於市の対応は。

**保健課長** 市としては  
①切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進  
②医療・介護関係者の研修

③地域住民への普及啓発について、曾於医師会立病院と2市1町で進めていけるように計画する。

市のトップは常に緊張感を持って危機管理を！

ちょっとひとりごと

# 高齢者による 交通事故の対策は

市長／警察署と連携して事故防止につとめる



刈合 昌昭 議員

**問** 曾於市内高齢者による交通事故の件数及び内容は。

交通事故の件数は155件、死者3人を含む死者数200人で、うち高齢者は53人で全体の26.5%となり、前年より14人の増となっている。

**問** 高齢者を交通事故から守るために行政としての指導、対策は。

高齢者団体に対しては、高齢者向け講習車「さわやか号」を年6回程度警察に派遣要請し、運転適正判断、交通安全講話を実施している。

**問** 高齢者が運転免許証を返納した場合の取り組みは。

市長 運転免許証を自主返納された方には、平成22年度から思いやりタクシー及び思いやりバスに無料で乗車できる乗車券を発行している。

## 市内病院、クリニックの現状は

**問** 市内病院、クリニックの現状は。

市長 今年に入り市内クリニックが8月末に1カ所閉院し、また11月に入り1カ所が休診となっており、今後インフルエンザ等の流行が予想され一部の医療機関に患者が集中すること待ち時間が長くなることが予想される。

**問** 医療、クリニックの閉鎖、一時休業で老人施設の医師確保対策は。

市長 介護福祉施設、特別養護老人ホームについては、設備及び運営の基準に基づき、医師を配置しなければならぬこととなっており、いずれの施設においても、現在嘱託医が配置されているところである。閉院、休診の

クリニックの医師は嘱託医ではなかったため問題はないところである。



市内の医療機関



今日も交通事故ゼロ

交通事故のない  
明るいまちづくりを！

ちょっとひとりごと

# 市の責任で分筆と 拡幅工事をすべきでは

市長／当然のこと、早急に指示したい



宮迫 勝 議員

**問** 建築行為を行う際に、その土地が狭い道路に接している場合、建築主にセツトバックという行為が求められる。どのようなものか。

**市長** 建築基準法で「幅員4m以上の道路に2m以上接しなければならぬ」という接道義務がある。しかし、4mに満たない道路もある。この場合、道路の中心線から2m敷地を後退させることで建築が可能となる。この敷地境界線の後退をセツトバックと言う。



セツトバックの現場

**問** 曾於市でもセツトバックが必要か。

**市長** 曾於市でも中心線より2m敷地を後退させないと、建築許可がおりないので必要である。

**問** 曾於市でセツトバックを行い、後退した部分を市の道路に寄付する旨の申告をしたが、個人で分筆してから提供してくれと言われた。

**市長** 市の責任で分筆して拡幅工事を速やかに行う要綱が必要ではなか。

**市長** 法律に従いセツトバックしたのだから、市の責任で行うのは当然のことである。早急に指示したい。

市の公共施設に関する市民アンケートは

**問** 公共施設の集約に関する市の考え方は。

**市長** 今後必要と思われる施設は、複合化や多機能化を図り、統合できるものは利便性の高い施設に改修することの検討も必要である。

**問** 今回の市民アンケートの目的は何か。

**市長** 市民の方々の施設に対する考え方や利用状況、意向を聞いて、今後の施設の在り方を検討する基礎資料とすることを目的に実施した。

## 観光振興について

**問** 商工観光課の新設で何を指すのか。

**市長** ふるさと納税で特産品の販売競争が激



曾於市のゆるキャラ「そお星人」

化しており、PR活動の重要性と影響が大きくなっている。特産品販売や来訪者の増加で、地域や地場産業の活性化に期待したい。ゆるキャラ「そお星人」を大いに活用したい。

**問** キャンピングカーで車中泊できるRVパークを曾於市に設置できないか。

**市長** 大川原キャンプ場を検討していたが、日本RV協会の認定基準によれば、温泉やコ

ンビニが近くにある。かの7つの条件がある。それらの基準を考えれば、道の駅を核とした施設がよいと考える。

道路が早く  
広がりますように

ちょっとひとりごと

# 公約の退職金廃止は できるのか

市長／任期中に条例を議会に提案する



大川内 富男 議員

**問** 市長は議員時代、市長他三役の退職金を廃止すれば約5千万円の縮減になると言われていたが、なぜ今は市長だけの退職金廃止に変わったのか。

**市長** 市長選挙では、市長の退職金は廃止を訴えてきた。

**問** 市長は議員時代、副市長、教育長の退職金廃止も言われていたが。

**市長** 副市長、教育長の退職金は支給する。現行どおりである。



自治会館内にある  
県市町村総合事務組合

**問** 公約の市長退職金廃止はどのようにして実現していくのか。

**市長** 鹿児島県市町村退職手当事務組合と協議して、市の条例を議会に提案する。

**問** 前総務課長は市の条例では退職金廃止はできないと答弁していたが、その協議内容は。

**副市長** 県市町村課等との協議の結果、3つの方法があると聞いており

- ① 県市町村退職手当組合の脱退
- ② 市長が退職金を拒否した場合、法務局へ供託する（その後、国費となる）
- ③ 市の条例を改正するという方法である。

**問** 確認するが市の条例で市長の退職金廃止が確実にできるのか。

**市長** 条例を議会に提案する。

**問** いつまでに提案するのか。

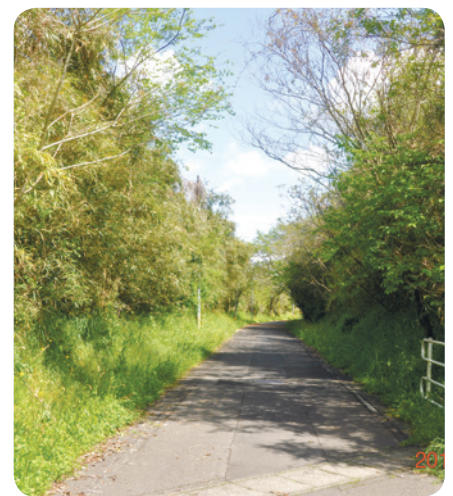
**市長** 市長の任期中に提案する。

## マインドロード 市道清掃は

**問** マインドロードを清掃する公民館と他の公民館との不公平感をあらためて強く感じるが。

**市長** 一部、市でやるべきとの意見もあるが、今後ともご協力いただきたい。

**問** 3月議会において補助金を出しているのに自治会は潤っているはずだと答弁されたが、とんでもない。自治会によっては、補助金の額より草刈機等による支出金を上回り、また、自治会員が作業



年々、清掃作業が困難になるマインドロード

に参加できない場合、徴収金も取られることもあると聞くが。

**市長** 徴収金の問題は各自治会の問題である。

**問** 共同作業をする場合欠席者には徴収金を取る等、規則を決めておこなうには参加者がいなくなる。また、高齢化率が36.5%以上と非常に高く高齢者の作業が難しくなっているため早く市の方で清掃をして頂きたい。

**市長** 現在、一部の公民館や自治会で負担を感じているところもあるが、

るが、現段階では引き続きご協力願いたい。

**問** 一般市道は自治会未加入世帯を含めた市民全体で清掃をすべきでは。

**市長** 市民に啓発していく。

主義主張も  
変わるもんだなあ  
ちょっとひとりごと

# 集落水道に対し 3分の2補助を

市長／財政状況など十分検討し協議をする必要がある



大川原主税 議員

**問** 集落水道の数は。

**市長** 末吉地区9組合で460人、大隅地区48組合で4000人、財部地区で36組合1800人、合計93組合で6260人ある。

**問** 上水道、簡易水道と比較すると、小規模水道に対する補助を増額すべきではないか。他の自治体では3分の2の補助率のところもある。

**市長** 補助率のアップについては、財政状況など十分検討しながら協議を重ねていく必要がある。



ふるさと道のサポート  
(県との協定 吉ヶ谷むらづくり会)

## 道路行政及び 交通対策は

**問** 県道の関係で、村づくりでは、県と協定を結んで美化活動を実施して5年目になる。評価と市独自の取り組みの考えは。

**市長** ふるさと道の道サポーターとして市内5つの団体が活動中である吉ヶ谷村づくり会については、県都城・隼人線の約5kmの区間において、5年間にわたり積極的な美化活動に取り組み、市内の美化に多大な貢献をされている。さらにこれらの活動を広げる必要がある。

## 林業振興策は

**問** 平成26年度の間伐、主伐、植林面積は。

**市長** 間伐84.7ha、主伐315ha、植林、96.3haである。

**問** 再造林率は。

**市長** 26年度は、59%である。

**問** 再造林を強力に進めるべきと思うが、具体策は。

**市長** 森林組合、素材業者をはじめ、県・市といっしょになって再造林推進検討委員会を立ち上げ、1月には、1回目の会合を実施する。

**問** 森林資源を活かしたまちづくりは。

**市長** 第1に人口林率が高い本市は、木材の生産の場として利用し、林業振興を図っていく。

第2に悠久の森・憩いの森などの天然性林の資源も多いため、これらを自然休養の場・レクリエーションの場として活用したまちづくりを進めていきたい。

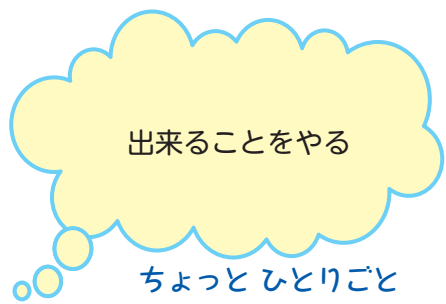


伐採後、再造林された山林

## 焼肉イベントの 内容は

**問** 焼肉イベントの必要性、目的と効果は。

**市長** 弥五郎伝説の里を桜の名所として定着させ農土家市や農畜産物を広く市内外にアピールし、交流人口を増やすことを目的としている。社会福祉協議会とも連携することで多くの参加を見込める。



出来ることをやる

ちょっとひとりごと

# 新地公園（グラウンドゴルフ場）の現状は

市長／工事の発注を12月にする



岩水 豊 議員

**問** 新地公園（グラウンドゴルフ場）の現状は。

**市長** 土地の買収は、完了していないが、工事の発注を12月にする。

**問** 土地の買収単価は、いくらか。

**市長** 10a当たり200万円から300万円である。市道に接している土



ナイスショット！

地とそうでない土地には、価格差を設けている。

**問** 胡摩地区は、10a当たり30万円であった。10倍近い価格差があるが。

**市長** 新地地区は、市街地なので単価に差が出る。また、当初の計画どおりに完成できるように進めていきたい。

## 胡摩地区の現状は

**問** 9月議会で指摘した胡摩地区の登記の錯誤問題の処理はされたか。

**市長** 用途変更の同意が全員得られてから錯誤処理をしたい。

**問** 買収地の用途変更の同意は完了したか。

**市長** まだ、全員の同意はもらえてない。

**問** この膨大な土地の活用計画は、できているのか。

**市長** 現在のところ、計画は立っていない。

## 公共工事の円滑な施工の確保は

**問** 国より要請のあった最低制限価格の見直しを実施する計画はないか。

**市長** 来年2月の入札制度検討委員会に諮り、国の指示を含め、検討する。

## まち・人・しごと創生総合戦略人口ビジョンは

**問** 曾於市の将来人口の推移は、本市独自の推計と、国の研究所の推計の差は。

**市長** 2060年の国の推計は1万5021人であるが、曾於市の目標は、2万5151



人家を守る急傾斜工事

人としている。総合戦略ビジョンを踏まえ、第2次総合振興計画における施策の進捗度と合わせて確認を行うことで目標を達成できるようにしたい。

胡摩地区は全員の同意がないと土地活用は、しない。新地公園は、未買収地があるのに、事前着工。予定通りに完成するのか心配

ちょっとひとりごと

# 岩川高校跡地の有効活用は

市長／岩川小学校の移転改築を検討



坂口 幸夫 議員

手ぬるいと考ええる。地域住民は、市長の行動力に期待しているが市長としての考えを示さりたい。

**問** いよいよ岩川高校が来年3月をもって閉校になる。市として跡地の有効活用について、県の指示待ちでは

**市長** 市教育委員会が県教育委員会高校教育課を訪問し、本市の現状等を伝え、県の状況や考え方について協議



平成 28 年 3 月で閉校となる岩川高校

してきた。県の考え方は、岩川高校の跡地については、県として活用する計画がないことから、できるだけ地元の要望に沿いたいとのことであった。市としての岩川高校跡地の活用策については、岩川小学校の移転改築が望ましく、その方向で準備に入りたいと考えている。

## 教育行政について

**問** 市内3中学校のいじめ、不登校の現状は。

**教育長** 昨年度の市内3中学校のいじめは、11件だったが、本年度は3中学校で、現時点で1件の報告である。

不登校については、昨年度27人であったが、本年度現時点で11人である。各学校で組織をあげ、きめ細やかな取り組みが成果をあげているものと判断している。

## 大隅鳥獣保護区の現状は

**問** 保護区内の被害が拡大するなか、地域住民から保護区の指定解除・縮小を望む声が多い。市長としての考えを示されたい。

**市長** 地域から保護区解除・縮小の声が多いことから県と協議したところ、地域からの解除・縮小の要望文書を県に提出することにより、相互協議しながら解除・縮小ができるように今後進めていく。

## 市道の交通安全対策は

**問** 市道笠木・馬渡線と農道笠木原2号線の交差点で事故が多発している。

この交差点には、農道の方に笠木原土地改良区による簡易な交通安全看板があるだけである。市道側にも安全



市道笠木・馬渡線と農道2号線の交差点

**市長** 現地調査したところ、市道側については交差点を示す表示がないので、交差点路面上へのクロスマークの設置や「交差点あり」などの警戒標識を早急に設置し、注意喚起に努めていく。

市民の皆様にとって  
平成 28 年がすばらしい  
年になりますように！

ちょっとひとりごと



# 委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会では、12月定例会で付託になった議案・陳情等について審査を行いました。

## 総務常任委員会

(山田義盛委員長)

### ☆第2次曾於市総合振興計画基本構想の策定

**問** 第1次総合振興計画(平成18年～27年)と第2次総合振興計画(平成28年～37年)の違いと課題は何か。

**答** 第1次は均衡ある発展のもと、市道等の整備、既存施設の大規模改修、大隅の農村加工センターや消防施設の新築など、インフラ整備に重点を置いてきた。第2次は人口減少を課題として、定住促進、少子化対策を重点的に取り組むこととした。

### ☆曾於市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定

**問** セキュリティ対策は万全であるか。

**答** 国・県とのやり取りは基幹系で行い、外部とのやり取りは情報系にわけて、他からメールが入らないようにしている。データの流出防止では、USBメモリーの取り扱いが特定のものしか利用できない。

### ☆曾於市債権管理条例の制定

**問** 債権の放棄について、時効の援用で範囲が広がることはないか。また公平・公正は確保されるのか。

**答** 時効が満了したものを自動的に放棄するものではない。市税等収納向上対策委員会で各課の債権を審議し、公平・公正に取り組む。

### ☆曾於市行政組織条例の一部改正

**問** 人口減少が進む中で組織再編である。将来的な見通しは。

**答** 職員数は出向職員を除いた実員350人を基本としたい。将来的には総体的な見直しが必要と考えている。

**問** 地域包括センターは将来的には民間に委託するの。

**答** 平成30年から民間

委託の方向で考えている。

### ☆曾於市税条例等の一部改正

**問** 今回の改正は、延滞金の減免等に関する規定を設けるものだが、市民への周知はどうするのか。

**答** 納付書発送時にわかりやすく周知したい。

### ☆平成27年度曾於市一般会計補正予算(所管分)

**問** 市民課の顔認証システム用機器購入費は何か。

**答** 今回の追加でふるさと寄附金は総額5億円となる。5千万円は返礼品に充当する。

**答** マイナンバー制度に備えて、平成28年1月から交付予定の個人カード番号が確実に本人に渡るように、本人の顔とカードの写真を認証させるためのパソコンとカメラの購入費である。

**問** 財政課の思いやりふるさと寄附金を1億円追加とあるが。

本市が  
今後10年間で  
達成すべき将来像

豊かな自然の中で  
みんなが創る  
笑顔輝く元気なまち

(第2次曾於市  
総合振興計画  
基本構想より)



人気上昇中 うなぎ蒲焼Bセット

## 文教厚生常任委員会

(徳峰 一成 委員長)

### 指定管理者の指定について

#### ☆生きいき健康センター

本案は、平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間、㈱メルヘンスポーツに指定管理するものです。

**問** 指定管理料の額は。

**答** 会社側と協議して指定管理料を決めた。

**意見** これに対して委員より、あらかじめ指定管理料の額を確定してから議案に提案すべきではないかと意見があった。



指定管理されている生きいき健康センター

#### ☆曾於市立図書館

本案は、平成28年4月1日から平成31年3月31日までの3年間、シダックス大新東ヒューマンサービス㈱に指定管理するものです。公募の結果、2者によるプレゼンテーションが行われ決定されたと報告があった。

**意見** 今回の指定管理に関する議案の審査において、委員より、指定管理料、協定書の内容などを各団体と十分協議した上で議案に提案すべきではないか、提案の仕方については、今後検討が必要である。

#### ☆平成27年度曾於市一般会計補正予算(所管分)

**問** 子ども・子育て支援給付費の施設型給付費を1億528万6千円増額した理由は。

**答** 市内の認可保育園・認定こども園は12月1日現在、定員940人に対して1045人が入園しており、入園者の増加による給付費の増額分である。

**問** 小・中学校のパソコン購入の市の基本方針は。

**答** 学校で教職員が使用するパソコンは台数が多くリース契約で対応している。また、事務職員が伝票処理用に使用するパソコンは台数が少ないため購入している。

**問** 小学校就学援助費102万9千円増額の理由は。

**答** 年度当初受給者を161人とみていたが、178人に増える見込みのための増額分である。

**問** 保育所整備事業費補助金2835万円の内容は。

**答** 大隅中央幼稚園が平成28年6月に、認定こども園への開設をめざし増改築をするための増額分である。



認定こども園となる大隅中央幼稚園

# 建設経済常任委員会

(伊地知厚仁委員長)

## ☆曾於市道路占用料 徴収条例の制定

**問** 占用料はどのような基準で定められているのか。

**答** 国が定めた基準が基礎となるが、県及び近隣市町の状況をみて決定した。条例制定により、占用料が貴重な財源になる。

## ☆花房憩いの森の 指定管理者の指定

**問** 森林組合への指定は何回目か、入園者数を増やす対策や協定はどうなっているのか。

**答** 今回で3回目の指定になる。例年憩いの森ジョギング大会を開催し、現在バーベキューコーナーの利用者も増えている。協定につい



利用者増が期待される花房憩いの森  
(ジョギング大会)



立馬地区のほ場整備 (大隅町)

ては、5年の基本協定を締結し、年度ごとも協定を結ぶ。

## ☆平成27年度曾於市 一般会計補正予算 (所管分)

### 耕地課関係

**問** 立馬地区のほ場整備はいつまでか。

**答** 立馬地区は平成25年度に着工し、平成29年度で完了予定である。

**問** 総事業量89.3haの3地区の概要は。

**答** 新坂元地区42.3ha、川床地区34.8haは、今後県営畑かん事業で整備を実施する計画である。立馬地区12.2haのみ、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業で整備する。

### 経済課関係

**問** 観光イベント助成事業の桜・焼肉大会は一日だけでなく長期間できないか。

**答** 実行委員会等で協議していきたい。

### 建設課関係

**問** 財部荒川内・八ヶ代線の立木補償は。

**答** 測量設計の結果、当初計画の水田側からでなく、山側からの施工に変更したことによるものである。

## ☆平成27年度曾於市 一般会計補正予算追加 (所管分)

11月18日の集中豪雨による河川・市道災害復旧費1183万円の増が主なものである。

### 耕地課関係

**問** 災害の規模は。

**答** 農道7件、水路7件の災害が発生したが、いずれも小規模で応急作業で対応した。

### 建設課関係

**問** 河川災害が2件発生しているが、寄州の除去対策はできないか。

### 陳情書

## ☆大規模鶏舎の建設 計画反対の陳情

(全会一致 採択)

**意見** 本委員会は、陳情者及び建設計画業者双方の意見を聴取した結果、隣接自治会の全部の同意を得ていない。これまで過去に豚舎建設反対により事業を断念した事例があることを踏まえて、建設計画業者はさらなる飯野・西飯野自治会への説明会の開催をされ、同意を得るよう努めていただきたい。

**答** 復旧工事にあわせて対応したい。



# 曾於市へようこそ



～市内の地域振興住宅へお住まいのご家族を紹介します～

山下さんご家族は、7年前結婚され都城市に住んでいらっしゃいましたが、ご主人が曾於市の障害者支援施設に勤務しているため、市内への移住を考えていたところ、地域振興住宅のことを知り3年前に諏訪団地に入居されました。

地域の方々や、ご近所の皆さんにあたたかく迎えていただき、のびのびと楽しんで子育てができること喜んでいらっしゃいます。これから、人とのつながりを大切にしていきたいと話しておられました。

山下 幸真さん (33歳)  
由香理さん (31歳)  
大翔くん (6歳)  
大太くん (4歳)  
大琥くん (1歳)



(割合)

財部中学校のバレー部を紹介します。現在、部員は2年生の10名です。放課後の限られた時間を有効に活用し、坂口主将の指示で準備運動に時間をかけて、基礎練習をしつかりされています。1時間程度の練習時間でしたが、無駄のない中身の濃い練習でした。ボールを使った練習は、20分程度でした。特にサーブの練習は、1球1球を大切に決める、質の高い内容を期待しています。

(岩水)



表紙によせて

## 編集後記

新年を迎え暖かい冬かと思われていましたが、大寒波の襲来で体調管理の難しい時期であります。

今年、夏にブラジルでオリンピックが開催されます。日本人の活躍が、多いに期待されます。

また、7月には、鹿児島県知事・参議院議員選挙が行われます。

今回の選挙から18歳以上に選挙権が引き下げられました。若い有権者のみなさんもぜひ自分の意思を選挙に反映してください。

議会では、昨年12月議会において議会構成替えがあり、原田議長を中心に委員会構成も新たにになりました。

私たち広報委員会、も上村委員長を中心に、市民に分かりやすい議会だよりづくりにお一層努めてまいります。

(今鶴)

## 訂正について

議会だより第42号、4ページの須田教育委員の任期、平成28年1月1日からの3年間とありましたが、平成27年10月5日からの4年間でした。訂正してお詫びいたします。



ご意見をお聞かせください

## 議会広報等調査特別委員会

委員長 上村 龍生  
副委員長 岩水 豊  
委員 今鶴 治信

発行責任者

議長 原田賢一郎  
副議長 迫 昌昭  
委員 宮迫 勝  
委員 岩水 豊  
委員 今鶴 治信